

2019年度第3回 ICT 利用教育改善研究発表会運営委員会
議事録

I. 日 時 令和2年2月29日(水) 13:00~15:00

場 所 私立大学情報教育協会事務局

II. 出席者 角田理事、東村委員長、友永委員、渡邊隆俊委員、田中宏明委員、田中豊委員、
服部委員、山本委員、渡辺淳委員(ネット参加)、山路委員(ネット参加)
(事務局 井端事務局長、中村)

III. 検討事項

今回は主に、2020年度の発表会の方針、発表募集要項と発表会論文・発表申込書式の見直し、および今後のスケジュールについて確認した。

1. 2020年度の発表会について

2020年度発表会に向けて、以下の点を検討した。

(1) 発表会の開催方針確認、開催日・会場と発表募集要項

- ① 教育の質向上を目指した改善発表会であることを明確に示すため、発表募集要項のタイトルについて検討し、従来の「教育の質的転換を目指す ICT 利用」から「教育の質向上を目指す ICT 利用」に更新することにした。
- ② 発表会(1次選考会)は、2020年8月25日(火)東京理科大学森戸記念館とした
- ③ 発表募集要項の教育改善の例として、「学部等連係課程授業」と「地域社会・産業界との連携授業」を加えることとし、「学部等連係課程授業」には、脚注「横断的な分野に係る教育課程を複数学部で実施する教育課程に基づく授業」を表記しておくことが確認された。
- ④ 有償で参加者に配布していた「発表会論文資料冊子」を発表者には無償としていたが、公平性の点から発表者に資料代を負担(1,000円)いただくことになり、発表募集要項に明記することにした。
- ⑤ 以上の他は、前年度と同様とした。

(2) ICT 利用による教育改善発表会論文の体裁・書式

- ① 発表会論文の見本について、以下の通り、修正した。
 - * 「教育改善の目的・目標」の(例)「問題の所在」について「……学修意欲の不足」の次に、「知識の関連付け・思考力不足、……」を追加した。
 - * 「研究の目的・目標」の(例)「……主体性・多様性・協働性の獲得」の次に、「分野横断対話授業による価値創造力等の向上」を追加した。
 - * 「教育実践による教育効果とその確認」の参考例として、(例1)を「LMS データ、ポートフォリオ等の分析で明らかな教育効果が認められた」に改めた。
 - * 「結果の考察」に「……教育の質向上への寄与」を追加した。
 - * 「謝辞」は任意であることを付記することとした。
- ② 以上の他は、前年度と同様とした。

(3) 「発表申込」の体裁・書式

以下の点を検討し、修正・決定した。

- ① 教育分野欄に「分野横断系(SDGs 含む)」と、「データサイエンス・AI 教育系」を追記することにした。
- ② ICT を利用した取組み例の欄では、発表募集要項と同様の注釈を付記することとした。
- ③ 発表内容欄の教育改善の目的・目標の例示に、「問題の所在」に「知識の関連付け・思考力不足」を追加した。「研究の目的・目標」には「分野横断対話型授業による価値創造力等の向上」を追加した。
- ④ 教育改善の内容と方法の「改善内容のイメージ」に「学部等連係課程授業、地域社会・産業界との連携授業」を追加した。
- ⑤ 教育実践による教育効果の「エビデンスの参考例」に「ポートフォリオ」を追加した。
- ⑥ 以上の他は、前年度と同様とした。

2. その他(今後のスケジュール等について)

- ① 発表募集から書類選考、発表会と一次選考、二次選考等の予定スケジュールを確認した。
- ② 次回の委員会は、令和2年5月23日(土)とした。